

四国横断自動車道 勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会 (第3回)

第3回委員会の進め方



平成28年2月23日

1.環境保全検討委員会の目的と主な議題等

- 1.目的 …………… 四国横断自動車道勝浦川渡河橋梁の整備にあたって、生物の生息・生育環境の保全対策を検討するため、専門家から必要な指導、助言を得ることを目的とする。
- 2.主な議題等 …… ①橋梁の設置に起因する環境への影響
②環境保全対策
③モニタリング調査に係る調査の項目、方法及び評価
④その他、目的達成に必要な事項

2.委員会の進め方

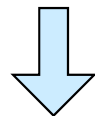
平成27・28年度スケジュール(勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会)

	平成26年度まで	平成27年度												平成28年度												平成29年度以降	備考					
		H27												H28																		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
委員会における検討																										※委員会は工事完了後1年まで継続(委員会は適宜開催)						
		<p>委員会設立及び調査方針の決定 (H27 10/15)</p> <p>環境への影響の評価、橋梁構造、環境保全対策及びモニタリング計画の検討 (H28 1/6)</p> <p>環境への影響の評価、橋梁構造、環境保全対策及びモニタリング計画に係る検討結果の決定 (H28 2/23)</p> <p>橋梁デザイン方針の決定、事前調査結果及び施工計画を踏まえた評価及び環境保全対策並びにモニタリング計画の検討 (H29 第4回)</p> <p>事前調査結果報告、事前調査結果及び施工計画を踏まえた評価及び環境保全対策並びにモニタリング計画の検討 (H29 第5回)</p>																														
環境調査	鳥類	■		★	★				★				★											★	★					★		
	魚類・底生生物	■			★				★								★										★					
	植物	■		★	★		★	★									★	★			★	★										
	地形																★						★									
	水質																	★				★			★				★			
	地形変化解析(概略)				■																											
	河口域波浪・流況観測																															
	地形調査																															
	河床材料・底質調査																															
	河口域波浪・流況解析																															
	河口砂州地形変化解析																															
	河口砂州・変化予測																															
地形変化解析																																
詳細設計・施工計画														■																		

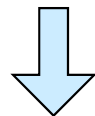
3.検討方針

- 想定される環境への影響把握
 - ・橋梁の設置に伴う、生物の生息・生育環境への影響
 - ・橋梁の設置に伴う、干潟や河口砂州等への影響

- 環境保全目標の設定
 - ・生物の好適な生息・生育環境を維持する。
 - ・干潟や河口砂州の現状を概ね維持する。



- 環境保全目標が達成されない事が予測される場合、
目標を達成するための対策を検討
 - ・橋梁の構造検討等



- モニタリング方法の検討

4.第2回検討委員会の議事概要

1. 日時 平成28年1月6日(水) 13:30~16:30

2. 議事次第

1.開会挨拶

2.事業者挨拶

3.議事

(1)第2回委員会の進め方(資料1)

(2)環境への影響の評価、橋梁構造、環境保全対策の検討(資料2・資料3)

(3)モニタリング調査計画の検討(資料4)

4.閉会

3.配付資料

資料1 第2回委員会の進め方

資料2 勝浦川渡河橋周辺における基礎情報

資料3 環境への影響の評価及び環境保全対策の検討

資料4 モニタリング調査計画の検討

5.第2回検討委員会における主な意見及び回答(1/2)

意見内容		意見に対する回答	配付資料
1	底生生物の生息環境(地盤高や底質)の区分について分析・整理して下さい。	調査地点の底質(含泥率・地盤高)と底生生物の確認状況について、分析・整理を行いました。	資料3
2	道路の計画地点で確認されている希少種以外の種についても整理して下さい。	道路の計画地点で確認されている種について整理しました。	資料3
3	地形変化の解析結果については、わかりやすく再整理して下さい。	地形変化の解析結果について、計算値同士での比較や年最大流量による解析を行うなど整理を行いました。	資料3
4	地形変化量は、±50cm以上での表現ではそれ以下の変化が確認できないため、もっと小さな河床変化量で表現できないか。	地形変化量は、より小さな区分で表記しました。	資料3
5	トンネル坑口部の地形が変化するが、この場所でのミティゲーションをどのように考えるのか。	新たな問題として提示された重要事項なので、別途ご相談させていただきます。	—
6	景観については、各橋梁形式とも違いはほとんどない。トンネル坑口部の影響が大きいため、橋台周辺の盛土部も含め考えてほしい。	新たな問題として提示された重要事項なので、別途ご相談させていただきます。	—

5.第2回検討委員会における主な意見及び回答(2/2)

意見内容		意見に対する回答	配付資料
7	今後行うモニタリング調査については、橋脚付近を追加して下さい。	潮下帯生物調査において、橋脚付近に調査地点を追加するなど調査地点を見直しました。	資料4
8	埋蔵文化財等の状況を教えてください。	資料2において、埋蔵文化財等の状況を記載しました。	資料2
9	植物の調査は、希少種のみに着目するのではなく一般種も含めて確認する方が良い。	植物調査は、一般種も含めて確認します。	資料4
10	トンネル坑口部の現状の植生を調査し、復元することが望ましいので考慮してほしい。	新たな問題として提示された重要事項なので、別途ご相談させていただきます。	—
11	植生全体を残すのは難しいが、希少種は移植したり、標本にしたりして残すことが必要。	現地調査結果を踏まえ、必要に応じて希少種の移植や標本保存など検討いたします。	資料4